

人間総合学群 人間文化学類 日本文化専攻							
氏名	木内 英実	職名	教授	専攻分野	日本文学	学位名	博士（文学）
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
<p>【著書】</p> <p>『小説の中の先生』おうふう、2008年10月（共著：上田博、池田功、前芝憲一、古澤夕起子、<u>木内英実</u>他）</p> <p>『密教美術と歴史文化』法蔵館、2011年5月（共著：真鍋俊照、ドナルド・キーン、津田徹英、内田啓一、<u>木内英実</u>他）</p> <p>『木下杢太郎の世界へ』おうふう、2012年4月（共編著：池田功、上田博、古澤夕起子、<u>木内英実</u>編）、</p> <p>『神仏に抱かれた作家 中勘助－「提婆達多」「犬」「菩提樹の蔭」インド哲学からのまなざし－』三弥井書店、2018年1月（単著）</p> <p>『「中勘助の直筆資料のデジタル化基盤整備に伴う創作方法の解明に関する研究」成果報告「静岡市所蔵中勘助旧蔵書目録」』東京都市大学、2019年3月（単著）</p>							
最近5年間の業績（2019年度～2023年度）							
<p>【報告書】</p> <p>『「中勘助の戦中・戦後創作に表れた超越的文化バイアスの研究－直筆資料の分析をもとに－」成果報告「中勘助文学に表れた超越的文化バイアス」』駒沢女子大学、2024年3月31日（内「中勘助の俳句」のみ共著：<u>木内英実</u>、新堀邦司、）</p> <p>【研究論文】</p> <p>「戦前・戦中の教科書教材としての中勘助作品の位置づけ」『東京都市大学人間科学部紀要』<12号>東京都市大学、2021年3月（単著）</p> <p>「日本近代文学に描かれた生と死～中勘助を中心に～」『日本文化研究』<14号>駒沢女子大学出版会、2021年3月（単著）</p> <p>「中勘助の戦後の児童文学作品『雷の太鼓とチャルメラ』及び『ひばりの話』に関する考察」『東京都市大学人間科学部紀要』<13号>東京都市大学、2022年3月（単著）</p> <p>「中勘助の静岡時代の俳句について－塩田章氏旧蔵中勘助直筆句稿『鶴』を中心に－」『東京都市大学人間科学部紀要』<14号>東京都市大学、2023年2月（共著：<u>木内英実</u>、新堀邦司）</p> <p>「中勘助の仏教童話及び仏教童謡詩における Jataka 等聖典の受容」『印度學佛教學研究』<71巻2号>日本印度学仏教学会、2023年3月（単著）</p> <p>「中勘助の仏教詩における聖典の受容」『印度學佛教學研究』<72巻2号>日本印度学仏教学会、2024年3月（単著）</p> <p>【書評】</p> <p>「藤澤全著『異邦と石川啄木－ケース・スタディー』」『国際啄木学会研究年報』<26号>国際啄木学会、2023年3月（単著）</p> <p>【研究発表】</p> <p>「日本近代文学に描かれた生と死～中勘助を中心に～」駒沢女子大学日本文化研究所2020年度研究会、</p>							

於：駒沢女子大学（オンライン）、2020年10月30日（単独）

「中勘助の仏教童話及び仏教童謡詩における Jātaka 等聖典の受容」日本印度学仏教学会第73回学術大会、於：東京外国語大学（オンライン）、2022年9月3日（単独）

「中勘助の戦中・戦後の詩業におけるインド叙事詩『マハーバーラタ』の影響—『涼しき蔭』及び『山がつとはしばみ』を中心に—」日本比較文学会第60回東京支部大会、於：早稲田大学文学学術院（オンライン）、2022年10月15日（単独）

「中勘助の仏教詩における聖典の受容」日本印度学仏教学会第74回学術大会 於：龍谷大学（オンライン）、2023年9月3日（単独）

「中勘助による女性を描いた随筆作品に表れた作家意識について」昭和文学会第73回研究集会 於：二松学舎大学、2023年12月16日（単独）

【公開講座・シンポジウム】

「物語はこうして生まれた 中勘助の戦争児童文学」2022年度東京都市大学人間科学部・世田谷文学館友の会公開講座 於：東京都市大学夢キャンパス、2022年10月16日（単独）

「物語はこの場所から生まれた 中勘助文学シンポジウム 2023 信濃町」於：長野県信濃町中央公民館、2023年12月2日（企画及びシンポジスト：JSPS19K00329 助成に基づく）

【外部資金等獲得状況】

科研費基盤研究(C)19K00329「中勘助の戦中・戦後創作に表れた超越的文化バイアスの研究—直筆資料の分析をもとに—」（研究代表者）2019年4月1日～2024年3月31日